

enen 通信



NPO法人
多摩在宅支援センター 円

〒186-0003

東京都国立市富士見町1-25-21

TEL : 042-505-5880

FAX : 042-573-2869

HP : <http://zaitakuen.or.jp/>

発行 : 2021年11月15日

発行責任者 : 中嶋 康子

お待たせしました！前号より約一年…
～ご報告などなど～

2021年度が始まりました

NPO法人多摩在宅支援センター円
理事長 中嶋 康子

日頃より当法人に対してご協力をいただき誠にありがとうございます。昨年来からの新型コロナウイルス感染の拡大が収まらない状況が続いております。1年以上の経過の中で現場は厳しい状況ではありますが、そのような中だからこそ活動方針でもある住・居・交の大切さを実感し、実践していかなければならないと考えております。

2021年度は、後述しますように八王子のくぬぎの杜のユニットだった「とちの木坂ハウス」を独立させました。また、「リカバリーセンター転」の移転に伴い、法人本部の住所を実態に沿った形で立川市から国立市に移しました。今年度後半には法人全体のパンフレットを制作する計画です。

各所の活動はそれぞれに紹介してもらいますが、法人としては「人材育成・地域での活性化・人材育成をしながらの世代交代」を中長期の目標としております。引き続きご理解、ご協力をお願い致します。

目次

表紙・ご挨拶	P. 1	とちの木坂ハウス紹介	P. 4
令和2年度事業報告	P. 2	各事業所から近況報告	P. 5~6
令和3年度事業報告	P. 3	新入職員の紹介	P. 7

令和2年度事業報告

1. 財務の視点

本部の無形固定資産の処理により法人として初めて赤字決算となった。また、リニューアルしたリカバリーセンター転は新型コロナ感染の影響も重なり収入が減っている。グループホームについては安定した収入が保たれている。

2. 利用者の視点

(1) 各事業所の利用者ニーズに合わせた事業の具体化を図る

- ①生活介護をスタートしたリカバリーセンター転について出だしが遅れたが、介護層のニーズが見えてきた。
- ②ピア活動については、独自の活動がなく今後自立生活援助などを検討したい。
- ③管理者のグループワーク（WERC研修）は行ったが人材育成には至っていない。

(2) 法人理念を各事業所職員に共有化を図り、具体化させていく

所長会を定期的に行い事業所間の理解を深めた。またそれぞれの事業で行っている。

(3) グループホームの活用

地域特性を踏まえて重度の利用者の受け入れを行っている。

(4) 八王子地域の支援体制整備～精神科病院との協働
新型コロナお影響があったが、できる範囲で現場レベルの活動に参加した。

(5) 株式会社円グループとの連携を図る

分けることと連携を模索中。新型コロナの影響で行事は行えなかった。

3. 業務（仕事）の視点

(1) 組織運営

- ①NPO所長会・経営会議を定期的に行っている。
- ②通年の研修により管理者の評価基準の標準化を図った。
- ③通年かけて人事考課の準備を行った。
- ④BCPの点検・研修・連絡訓練を実施。継続してバージョンアップ行う予定。

(2) 経営安定の作戦

- ①グループホームは安定しているが、ショートステイは前半新型コロナの影響を受けた。
- ②転は、新型コロナの影響もあり厳しかった。
- (3) サービスの質確保と効率化

①目標管理シートを作ったが、業務への反映はされていない。

②業務のマニュアル化を各所で実施。特にGHは共通のものを作成中

③研修の年間計画は立てられなかったが、全体研修・管理者研修を行った

(4) 地域ネットワークへ積極的に参加する

①新型コロナの影響で会議そのものが滞った。できる範囲で地域ネットワークに参加した。

②HPのリニューアルを10月に行った。

4. 職員（確保・育成・働きがい）の視点

(1) 労務管理の整備：就業規則・給与規定の変更の準備を行い、2021.4より実施

(2) 人事考課の検討（反映方法など）：同上

(3) 人材確保・人材育成

①研修について年間計画には至っていない。

②新人は実施した。管理職研修は今後2020年度末まで行った。

③外部研修には各自で参加しているが、法人としても実施した。

④人材確保のための研修の企画に至っていない

⑤外部からの講師依頼については必要時人を派遣している

5. 財務関連 以下に貸借対照表を記載

令和2年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 多摩在宅支援センター
円

(単位：円)

科 目	金 額	小計・合計
【A】 資 産 の 部		
1 流動資産		
現金預金	88,950,085	
未収金	22,083,471	
立替金	41,255	
仮払金	92,626	
流動資産合計・・・①		111,167,437
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	2,250,767	
建物付属設備	2,022,875	
工具器具備品	326,788	
		4,600,430
(2) 無形固定資産		0
(3) 投資その他の資産		
出資金	100,000	
保証金	85,000	
敷金	4,762,800	
長期前払費用	322,500	
		5,270,300
固定資産合計・・・②		9,870,730
【A】 資 産 合 計 ①+②		121,038,167
【B-1】 負 債 の 部		
1 事業費		
流動負債		
未払費用	2,479,221	
預り保証金	3,604,560	
預り保険料	489,000	
預り食事代	178,111	
仮受金	450,000	
未払法人税等	120,000	
未払消費税等	210,000	
流動負債合計・・・③		7,530,892
2 固定負債		
固定負債合計・・・④		0
負債合計 ③+④		7,530,892
【B-2】 正 味 財 産 の 部		
前期繰越正味財産額	120,629,102	
当期正味財産増減額	-7,121,827	
正味財産合計		113,507,275
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】		121,038,167

令和3年度事業計画

1. 利用者の視点

- (1) 各事業所の利用者ニーズに合わせた事業の具体化を図る
 - ①リハビリセンター転・とちの木坂ハウスの安定した運営
 - ②住宅支援事業の活用
 - ③多職種チームの力量アップ
 - ④ピア活動の支援
- (2) 法人理念を各事業所職員に共有化を図り、具体化させていく
利用者ニーズに合わせた支援を展開
- (3) グループホームの活用：ニーズに応じたサービスの展開
- (4) 八王子地域の支援体制整備～精神科病院との協働
- (5) 株式会社円グループとの連携を図る

2. 業務（仕事）の視点

- (1) 組織運営
 - ①本部移転に伴う体制整備
 - ②次世代育成
 - ③人事考課の実施
 - ④BCPの点検
- (2) 経営安定の作戦
 - ・リハビリセンター転
 - ・とちの木坂ハウス
- (3) サービスの質確保と効率化
 - ①職員の個別計画を作成
 - ②業務マニュアル整備・実績評価委
 - ③研修の充実
- (4) 地域ネットワークへの積極的参加
 - ①地域会議等への積極的参加
 - ②ホームページによるタイムリーな情報公開
 - ③地域交流への積極的参加・イベントの企画・実施

3. 職員（確保・育成・働きがい）の視点

- (1) 労務管理の整備
 - ①変更した就業規則の実施
 - ②細則検討
 - ③処遇改善手当の適正化
 - ④メンタルヘルスの充実
- (2) 適正な人事考課の実施
- (3) 人材確保・人材育成
 - ①研修の充実
 - ②外部研修への参加



令和3年4月スタート とちの木坂ハウス

コンセプト グループホームを利用しながら 「活動の充実」をはかる

【事業所概要】

定員：6名
種別：滞在型
夜間：宿直・夜勤なし
スタッフ体制：常勤1名・非常勤1名

【特徴】

☆駅からのアクセスが良い
☆比較的部屋が広く使いやすい間取り
☆トイレ・バス・洗面所独立
☆木造住宅
☆周囲が住宅地
☆両サイドが道路に面している

【対象となる方】

- ・日中活動の場がある方・就労を目指していく方・就労中で生活面のアシストが必要な方
- ・滞在型とするが、就労等の活動が安定し自立できる段階になれば、一人暮らしを目指していく気持ちのある方
- ・近隣・建物の特徴からある程度周辺状況に配慮できる方



各事業所からの 近況報告

とちの木坂ハウス（八王子市子安町）

4月にくぬぎの杜のユニットから独立し滞在型に移行して、6月には全部屋（6名）が埋まりました。コロナの影響で夕食会はみんなで何かを作るという形ではありませんが、配食形式をとり出来ることから行っています。毎回利用者さんに何を食べたいかの意見を聞き、参考にしながら次回のメニューを決めています。有難いことに毎回好評です。今は交流室をどのように使っていくかを検討しています。皆さんの交流の場として活用していただけたらと考えています。

くぬぎの杜（八王子市櫛田町）

令和3年4月よりとちの木坂ハウスが滞在型として独立し、くぬぎの杜ユニット（通過型と滞在型）・ひよしユニット（滞在型）で運営しています。また、管理者が変更し、新しいスタッフが移動や入職されていてフレッシュな体制となりました。

コロナ禍で自粛が続いておりプログラムは原則中止としてきました。それでも食事のニーズがあるため月1回各自お部屋で食事をしてもらっておりますが夕食会を実施しています。

メンバーミーティングも密にならないよう数回に分けて開始するなど最小限にとどめております。幸いにも陽性者が出ることなくみなさま生活をされています。見学や新しい入居者さんは感染拡大に配慮し継続して行っております。

訪問看護ステーションや管理会社さん、近隣住民の方々などたくさんお方々と連携しながらこれからもその人らしい豊かで多様な生活を応援していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

居宅安定化自立支援事業（八王子市日吉町）

わたしたち「居宅」では、八王子市生活自立支援課から2つの事業委託を受けています。

ひとつは生活保護受給者を対象とした「居宅生活安定化自立支援事業」、もうひとつは生活困窮者を対象とした「生活困窮者」支援事業です。どちらも、精神的な疾患をお持ちの方、その疑いがあるかたが主な支援対象者となります。職員は5名で、精神科の医師、看護師、精神保健福祉士の多職種チームで構成されているのが大きな特徴です。

現在支援させていただいているのは総勢100名弱です。なかなか家を出られず引きこもりが続いてる方、精神科通院が必要だと思われるが医療に繋がっていない方、精神疾患を理由に生活のしづらさを抱えている方がその大半です。市役所のケースワーカーや病院、関係機関との密な連携を行いながら、必要な医療、サービス、活動に繋がっています。

櫻の杜ハウス（国立市富士見台）

コロナ禍で感染対策に翻弄され、各種イベントが軒並み中止となっているのは仕方がない反面、残念です。

そのため、櫻の杜では感染対策を行いながら食事プログラムをはじめとして交流室を使い小規模なプログラムを開催しています。その中でも、webを活用して善光寺への旅行気分を味わうイベントを企画しました。もちろんお土産付きです。好評だったため第二弾は沖縄を企画中です。

入居されているメンバーさんもコロナに負けじと日々の生活を送られています。

また、今年度には新入職員が2名も加わりさらにパワーアップした櫻の杜で盛り上げていきますのでよろしくお願いします。

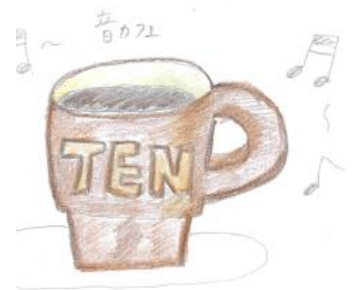
リカバリーセンター転（立川市錦町）

リカバリーセンター転です。

コロナウイルスに翻弄された1年でした。イベントもできずでしたが、感染対策をしながら忘年会や外出プログラムを実施しました。

引き続き感染対策をしっかりと行い、皆さんに安心して通所してもらえるよう継続していきます。

今回のenen通信は、リカバリーセンター転の利用者さんが作成から発送まですべて行いました！常に新しいことにチャレンジし、利用者さんの可能性を引きのばせる環境づくりを目指します。



新人職員の紹介



リカバリーセンター転
岩井



とちの木坂ハウス
能勢



櫻の杜ハウス
福島



櫻の杜ハウス
田中



リカバリーセンター転
田久保



くぬぎの杜
木谷

以上の6名が新たにNPO法人 多摩在宅支援センター円に入職しました。
これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

賛助会費納入のお願い

皆さまのお力添えいただいているからこそ、『円』は成り立っています。いつもご支援いただきまして、誠に感謝しております。ありがとうございます。

今年度の賛助会費(¥3,000)の振込用紙を同封させていただきますので、なにとぞ、納入いただけますようお願い申し上げます。



HPがリニューアルしました！各事業所からブログもアップしていますので、ぜひご覧ください！



多摩在宅支援センター 円

検索

